

令和3年度行政事業レビューシート (法務省)

事業名	更生保護施設整備事業への補助			担当部局庁	保護局		作成責任者			
事業開始年度	平成6年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	更生保護振興課		更生保護振興課長 瀧澤 千都子			
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	更生保護事業法(平成7年法律第86号)第58条ほか			関係する計画、通知等	「「世界一安全な日本」創造戦略」等					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	更生保護法人が設置・運営する更生保護施設について、老朽化等により、将来的に機能不全となるおそれの高い建物の改築・補修等を行い、更生保護施設の機能を維持することを目的とする。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	更生保護法人が設置する更生保護施設(全国に約100施設)について、施設の老朽化等を背景とする建物・設備の改築・補修等の実施に当たり、国が当該施設整備事業費の3分の2を交付限度として補助するもの。 なお、更生保護施設の施設整備を計画的に推進するため、平成6年度に「第一次更生保護施設整備5か年計画」を策定して以降、平成11年度、平成16年度、平成21年度、平成26年度、平成31年度と当該5か年計画を更新している。									
実施方法	補助									
予算額・執行額(単位:百万円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求				
	予算の状況	当初予算	394	404	357	0	336			
		補正予算	-	53	484					
		前年度から繰越し	160	171	200	484				
		翌年度へ繰越し	▲171	▲200	▲484					
		予備費等	-	-	-					
		計	383	428	557	484	336			
		執行額	383	423	541					
		執行率(%)	100%	99%	97%					
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	97%	93%	64%					
令和3・4年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由						
	更生保護事業費補助金	0	336	新たな成長推進枠:336						
	計	0	336							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標3年度	目標最終年度
	更生保護施設退所者に占める円満退所者の割合を81.5%以上にする。	更生保護施設退所者に占める円満退所者の割合(令和2年度の実績は集計中)(円満退所者数/更生保護施設退所者数)	成果実績	%	80.8	82.3		-	-	
		目標値	%	81.5	81.5	81.5		81.5	-	
		達成度	%	99.1	101		-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	事業成績書(更生保護事業法第29条第1項)									
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	4年度活動見込		
	補助対象更生保護施設の改築・補修等の実施件数	活動実績	施設数	23	25	35	-	-		
		当初見込み	施設数	9	22	21	17	-		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込			
	執行額/助成対象施設数	単位当たりコスト	千円	16,652	16,920	15,457				
		計算式	執行額/施設数	383百万円/23施設	423百万円/25施設	541百万円/35施設				

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策		更生保護活動の適切な実施(Ⅱ-7)										
	施策		保護観察対象者等の改善更生等(Ⅱ-7-(1))										
	測定指標	定量的指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
				実績値	-	-	-	-	-	-			
				目標値	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	-												
	新経済・財政再生計画改革工程表 2020	取組事項	分野:	-	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
					成果実績	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-				
		達成度	%	-	-	-	-	-					
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係													
-													
取組事項	分野:	-	-										

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	犯罪者処遇施設としての役割を十分果たせるよう、国が施設の整備を補助する必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	刑務所出所者等の改善更生を図るため、民間の事業を補助するものである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	間接事業者において、競争入札を実施すること等により競争性の確保やコスト削減に努めている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	なお、一般競争入札を実施するにあたり、十分な公告期間等を確保しているが、一部、一者応札となったことから、入札手続において見直せる部分について見直し、引き続き競争性の確保に努めることとしたい。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	計画案の策定の段階からコスト削減に努めており、単位当たりコスト等の水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	資金の流れの中間段階での支出は、直接補助事業者から間接補助事業者に対する補助金の交付に限定されており、合理的である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費目・使途については、本事業の目的に即したものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の継続により、事業内容の審査等に不測の日数を要したためであり、繰越の理由として妥当である。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	当初見込みに見合った成果実績となっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初見込みに見合った活動実績となっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備された施設は十分に活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	事業実施対象、事業実施内容、事業実施計画は5か年計画に基づき実施されており、補助金の交付手続等について点検を行ったところ、国の会計手続を遵守し、実施されており、現時点において特に見直す必要は認められない。	
	改善の方向性	今後も継続して点検を行い、必要に応じて見直しを図ることとする。	
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外である。			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	引き続き効率的な予算の執行に努められたい。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	-		

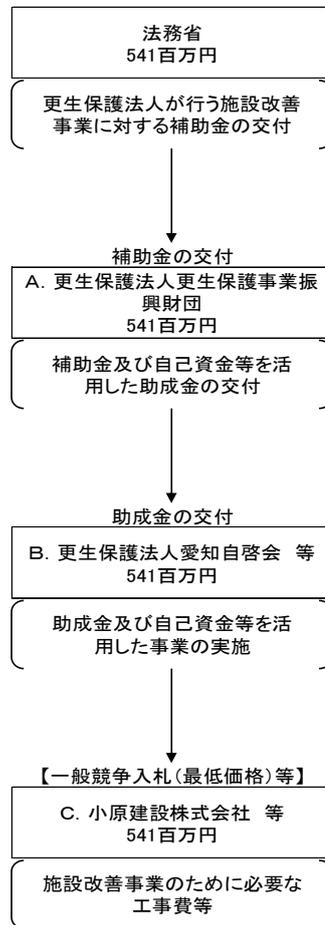
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0048			
平成23年度	0044			
平成24年度	0048			
平成25年度	0034			
平成26年度	0027			
平成27年度	0026			
平成28年度	0025			
平成29年度	0025			
平成30年度	0025			
令和元年度	法務省 - 0026			
令和2年度	法務省 - 0028			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.更生保護法人 更生保護事業振興財団			B.更生保護法人愛知自啓会		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	補助金	更生保護施設整備事業費の交付	541	助成金	更生保護施設整備事業費の助成	160
	計		541	計		160
	C.小原建設株式会社			D.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	工事費	施設改善事業の工事費	160			
	計		160	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	更生保護法人更生保護事業振興財団	4011005000682	補助金交付	541	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	更生保護法人愛知自啓会	4180005003241	更生保護施設整備事業費の助成	160	補助金等交付	-	-	
2	更生保護法人山梨以徳会	4090005001114	更生保護施設整備事業費の助成	134	補助金等交付	-	-	
3	更生保護法人長崎啓成会	3310005001389	更生保護施設整備事業費の助成	119	補助金等交付	-	-	
4	更生保護法人ウイズ広島	6240005002061	更生保護施設整備事業費の助成	32	補助金等交付	-	-	
5	更生保護法人佐世保白雲	1310005002918	更生保護施設整備事業費の助成	16	補助金等交付	-	-	
6	更生保護法人播磨保正会	8140005013554	更生保護施設整備事業費の助成	12	補助金等交付	-	-	
7	更生保護法人新潟県保護会	9110005000983	更生保護施設整備事業費の助成	9	補助金等交付	-	-	
8	更生保護法人更新会	9011105001048	更生保護施設整備事業費の助成	5	補助金等交付	-	-	
9	更生保護法人清心寮	2030005001427	更生保護施設整備事業費の助成	5	補助金等交付	-	-	
10	更生保護法人日新協会	9011505000797	更生保護施設整備事業費の助成	4	補助金等交付	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	小原建設株式会社	6180301000444	施設改善事業の工事費	160	一般競争契約 (最低価格)	5	89%	-
2	株式会社早野組	9090001001749	施設改善事業の工事費	134	一般競争契約 (最低価格)	3	98%	-
3	株式会社西海建設	2310001000619	施設改善事業の工事費	119	一般競争契約 (最低価格)	3	86.8%	-
4	錦建設株式会社	6240001008319	施設改善事業の工事費	32	一般競争契約 (最低価格)	1	98.4%	-
5	みなと建設株式会社	8310001006049	施設改善事業の工事費	16	一般競争契約 (最低価格)	2	92%	-
6	協同建設株式会社	6140001058539	施設改善事業の工事費	12	一般競争契約 (最低価格)	2	71%	-
7	株式会社大二工業	7110001003034	施設改善事業の工事費	9	一般競争契約 (最低価格)	6	90%	-
8	株式会社北辰電気工事	3030001019554	施設改善事業の工事費	5	一般競争契約 (最低価格)	5	94%	-
9	コニカミノルタジャパン株式会社	9013401005070	施設改善事業の工事費	5	一般競争契約 (最低価格)	1	73%	-
10	三芳建設株式会社	8011501008969	施設改善事業の工事費	4	一般競争契約 (最低価格)	3	100%	-